

様式第1号

事後評価シート

農政水産部

番号	事業名 箇所・地区名	市町村	事業概要	事業期間		事業費 (百万円)	対象理由 ※2	担当課	
				着手	※1 再評価 完成				
4	水産環境 整備事業 宮之浦沖合 地区	沿海 市町村	マウンド礁整備 1基 餌料培養礁 172基	H23	-	H29	1,022	①	漁業管理課

【1 全体計画】

	計画数	整備箇所	事業費 (百万円)
マウンド礁	14,519ha	串間市沖	824
餌料培養礁	172基	日南市及び串間市沖	198

【2 事業目的】

日向灘南部は天然瀬礁に乏しく、生産性の低い海域である。そのため、沖合域にマウンド礁（人工海底山脈）を、沿岸域に餌料培養礁（餌料培養基質のついた魚礁）を整備する。

マウンド礁は、栄養塩類が多い下層水を、表層に湧昇させてプランクトンを増やし、良好な餌環境の形成による漁場の造成を図る。餌料培養礁は、沿岸域の水産生物の稚仔魚期の生息環境を保全、イセエビ幼生の着底量を増加させるとともに、餌生物の増加による漁獲量増加を図る。

【3 事業効果の発現状況等】

マウンド礁の整備により、湧昇流の発生が確認され、それに伴うプランクトン及び漁獲量の増加が推定された。また餌料培養礁の整備により、餌料培養礁内に生息する餌料生物が確認され、それに伴う漁獲量の増加が推定された。整備した周辺海域を主な漁場とする漁協によるイセエビの漁獲量が増加した。

	整備前	整備後
マウンド礁（年間推定増加量）		
湧昇流によるプランクトン量	-	+2,672t
漁獲量	-	+238t
餌料培養礁		
餌生物の増加効果	-	66kg/m ³
イセエビの漁獲量増加		
南郷漁協	6.9t	8.2t
串間市漁協	1.2t	1.6t

<その他>

- マウンド礁の整備により、周辺海域の基礎生産が向上し、近隣の大型定置で漁獲量が整備前比106%になる効果が見られた。
- マウンド礁周辺で水産有用魚種の蛸集も確認でき、また漁獲調査の結果から、一本釣り等の沿岸漁業者の漁場に有用であることが確認された。

【4 事業による環境の変化や環境の保全】

本計画で整備したマウンド礁、餌料培養礁により、稚仔魚等の生息場を造成することができ、さらに日向灘の栄養環境が向上したため、海洋生物の生息環境は向上した。

【5 施設の維持管理状況】

餌料培養礁については、「宮崎県増養殖場造成事業施設管理規程」に基づき、利用する漁協・漁業者が本体損傷等の異常有無確認を実施している。

【6 今後の課題等】

沈下や砂泥の堆積により、効果が減少する可能性があるため、定期的な効果の検証が必要である。また、資源や環境の状況を見ながら機能を強化する整備についても検討が必要である。

総合評価

総合評価	特記事項
漁場施設の整備により、水産有用魚種の漁獲量の増大や漁場環境の向上が確認でき、事業効果の発現が認められる。	特になし

※1 再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。

※2 対象理由は、「①：全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業」又は「②：再度、事後評価の必要があると判断した事業」の番号を記載する。

※3 事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。